

自分で考える子に

遊び、給食・成長見守る

戸園
八長坂保育園

【八戸市白山台小六年
・嘉瀬達】八戸市根城に
ある長坂保育園は、本年
度開園三十周年を迎え
た。親子二代にわたって
通園した家庭も多く、保
護者からの信頼も厚い。
特色ある保育をしている
長坂保育園の取り組みに
ついて、川口園長(五三
に聞いた。

長坂保育園は現在百二
十人が通い、二十八人の
職員が保育にあたってい
る。五年前から「見守る
保育」に力を入れている。
保育園での生活の中に、
子どもが自分で考え、選
び、行動できる場面を意
識的に設定するというも



セミバイキング給食で盛りつけをする園児たち

のだ。
例えば、同じ遊びの時
間帯に複数の選択肢が用
意され、子どもたちは自
分で何をしたいか考え、
選んで遊んでいる。

長坂保育園は「食育」
にも力を入れている。給
食はセミバイキング方式
で、食べる量を自分で決
めて盛り付ける。苦手な
ものを少しでも食べられ

るようにするための工夫
である。地産地消を意識
したメニューや調理方法
に工夫が見られ、長坂保
育園の給食は園児の保護
者からも好評を得てい
る。また食事のマナー指
導にも様々な工夫や配慮
をしている。

さらに長坂保育園が取
り組んでいるのがサッカ
ー。一月七日、園児と職員
による新年会が行われ、
七人の代表園児が今年が
んばることを元氣よく発
表した。その中には「今
年はサッカーをがんばり
ます」という力強い抱負
もあった。

「年に二度ある市内の
幼児サッカー大会では、
過去十九回の出場で優勝
七回、準優勝四回という
実績を誇る。園庭には一
年中サッカーゴールが置
かれ、練習に励む年長の
園児たちに交じって、年
下の園児たちもボールを
けり、追いかける。「年
長の子どもたちの姿を見
て下の子どもたちは学
び、思いを受けついでい
く。これが長坂保育園の
サッカーであり伝統で
す」と川口園長は熱く語
る。